



のぞいてみよう！

としょかん しごと 図書館の仕事④

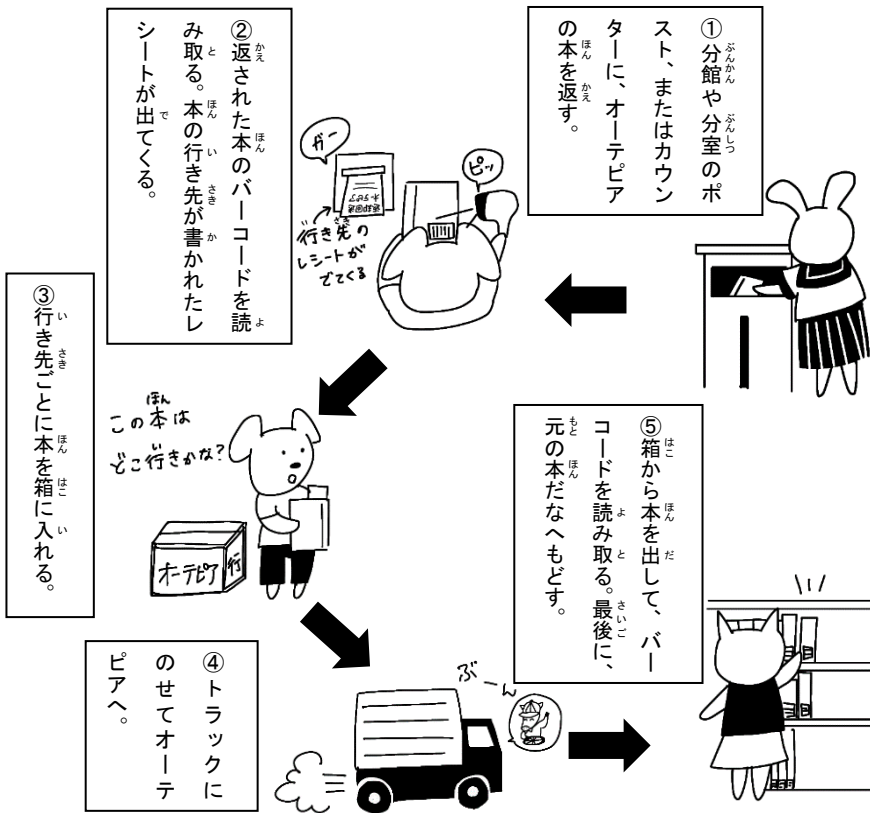


令和3年
4月号
第32号

今月号も、オーテピア高知図書館でのお仕事を紹介します！今回は、「図書館同士のつながり編」。

オーテピア高知図書館で借りた本は、高知市民図書館の分館・分室で返すことができます。反対に、分館・分室で借りた本をオーテピアで返すこともできます。

こんなことができる理由は、図書館同士のつながりがあるからです。では、借りた図書館とは別の図書館で返した本は、どうやって元の図書館に届くのでしょうか？左の絵のように、見えないところで、色々な人が仕事をしていることがわかりますね。



このコーナーでは、調べものに役立つ情報を伝授！4回目のテーマは、「本をさがしてみよう」。

オーテピア高知図書館のウェブ・サイトでは、本の検索ができます。検索とは、お目当ての本の情報をさがしたり、その本が図書館にあるかどうか、貸出中かどうかを調べたりすることです。

まずは、オーテピア高知図書館のウェブ・サイトにアクセス！そして、「本や資料をさがす」というところを見つけてね。白いわくの中に探したい本のキーワードを入れて、「検索する」ボタンをおしたら、その本が図書館にあるかどうか調べられるよ。検索した結果が多く出すぎてしまう時は、「もっと詳しく」

しらべもの道場

「探す」ボタンから、キーワードをふやして検索してみてね。



ほんのはなし

六才の男の子ラーシユ・エリックは、お母さんと二人で、屋根うら部屋に住んでいます。この部屋のかべ紙には美しい花や小鳥が描かれていて、病気がちで、昼間はいつも一人ですごしているラーシユ・エリックをなぐさめてくれるのです。

そんなある日、かべ紙の中から一人の女の子が現れました。名前は、ロサリンド。ロサリンドは、かべ紙の中の花園に、ラーシユ・エリックを案内してくれます。ロサリンドのおかげで、ラーシユ・

エリックは日に日に元気になっていました。ロサリンドは、彼に別れをつけなければなりません。はなればなれになってしまった二人。しかしこの別れが、新しいすてきな出会いにつながっていくのです。春にぴったりのお話。中学年から。

「ロサリンドの庭」エルサ・ベスコフ／作、菱木晃子／訳 あすなろ書房



